

令和5年度第3回稲沢市民病院経営強化プラン検討委員会 会議録概要

【日 時】 令和5年8月29日（火） 午後1時50分～2時50分

【場 所】 稲沢市民病院2階 講堂

【出席者】 渡邊 有三委員 春日井市民病院統括顧問
笠原 純一委員 稲沢市医師会長
栗木 雅洋委員 愛知県清須保健所長
家田 尚彦委員 稲沢市老人クラブ連合会長
牛嶋 みゆき委員 稲沢市連合婦人会長
日山 正裕委員 公募委員
浅野 隆夫委員 稲沢市総合政策部長
久留宮 庸和委員 稲沢市総務部長
山口 竜三委員 稲沢市民病院長
住田 千鶴子委員 稲沢市民病院看護局長

【事務局】 加藤 健司 稲沢市民病院事業管理者
砂川 良一 稲沢市民病院事務局管理課長
加藤 健児 稲沢市民病院事務局管理課主幹
櫛田 直柔 稲沢市民病院事務局管理課主査
加藤 政樹 稲沢市民病院事務局管理課主任

1. 議題

(1) 稲沢市民病院経営強化プラン（案）について

（事務局）

「稲沢市民病院経営強化プラン（未定稿）」により説明。

これまでの委員からの意見及び院内での協議を踏まえ、プラン案を修正。

修正箇所について説明。

○ 「役割機能の最適化と連携の強化」

地域医療構想を踏まえた当院の果たすべき役割

地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

質疑等

（委員）

前回会議の意見を踏まえ、非常に読みやすく、文章が改定されている。稲沢市民病院がどういう病院を目指していくかということが明確になったと思う。

(委員)

紹介率・逆紹介率の目標の数値が低いように思えるが、ここはどのようにやっていくのか。

(委員)

地域医療支援病院を取得するに当たっては、選定療養費 7,700 円のことを考えなくてはいけない。

(委員)

地域医療支援病院を取得するメリットがなくなってしまうというところだが、逆紹介率も診療器機の共同利用が進んでいけばすぐに上げられる。

現在の数値は確かに低いですが、逆紹介率はすぐに 100%にできる。紹介率については、できるだけ早く 40%を超えられたらと思う。

(事務局)

地域医療支援病院を取得できる要件を満たすぐらいの程度に早めに上げていきたいという考えでいる。

(事務局)

「稲沢市民病院経営強化プラン（未定稿）」により説明。

○「役割機能の最適化と連携の強化」

機能分化・連携強化

医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

一般会計負担の考え方

住民の理解

質疑等

(委員)

一般会計繰入金が上がっていくような計画を出して総務省は納得するだろうか。繰入金目標というのは、繰入を減らす、少なくとも厳しい状況下においても横ばいにしておくというような計画を立てないと総務省は受け取らないのではないかと。最近では光熱水費が非常に高騰しているということで、病院でも年間に 2 億円ほどは多く経費がかかっているだろうと思われる。経営努力はするけれども、修繕費やあるいは光熱水費というものの増加等があって、こういう計画にならざるを得ないなど何か一言入れないといけないのではないかと。

(委員)

繰出金は、総務省の繰出基準に基づき、業務の性質上、能率的な経営を行っても、なおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費のみを繰出基準内として一般会計から繰り出しをするものである。よって、経営上、運営費補助や赤字補てんなどの繰り出しではないので、経営努力は最善を尽くした上で、この繰出基準の範囲内で進めていくことになるものだと考える。

市側もこの繰入の計画についてはまだ協議も議論も確認できていないので、病院側と再度詰めていきたいと思う。

(事務局)

一般会計繰入金については、市側と協議を進めていく。

(事務局)

「稲沢市民病院経営強化プラン（未定稿）」により説明。

○「医師・看護師等の確保と働き方改革」

医師・看護師等の確保

若手医師の確保

働き方改革

○「経営形態」

経営形態の考え方

○「施設・設備の最適化」

施設・設備の適正管理と整備費の抑制

デジタル化への対応

○「経営の効率化」

経営指標に係る数値目標

目標達成に向けた具体的な取組

収支計画

○「点検・評価・公表」

点検・評価・公表等の体制

質疑等

(委員)

稲沢市のステージアッププランを拝見し、人口対策の中の一つに、子育て世代が安心できるようなまちづくりをしたいということが書かれていた。子育て世代に対する取組があるのならば記載して欲しい。

(委員)

子育て世代のサポートというのは入れないといけない。また、看護師の確保のところ
で、子育て世代の看護師が多くいる中で、出産後の看護師が辞めずに働けるよう取り組
んでいるので、少し記載があると良いと思う。

(事務局)

少子化への取組について、産科は市内の病院でほとんど賄われているので、当院では
産科の計画はない。しかし、子どもの健康については、小児科はしっかりやらなければ
いけないと考えている。現在、小児科医は2人だが、今後も小児科はしっかりやってい
きたいので、医師の確保に向けて大学にも働きかけている。

(委員)

働き方改革のところ、「認定看護師」と書いてあるが、これは「特定行為研修修了
者」で、認定看護師は医行為は全くしないので、医師のタスクシェアとかタスクシフト
と書くのであれば特定行為研修終了者と書くべきである。

看護師は交代制勤務者であり、交代制勤務者の女性の働き方についても記載しても良
いと思う。

(委員)

医師の確保について、「民間会社を通して」との記載だが、愛知県は2030年には深刻
な人手不足が見込まれ、医療業界はさらに厳しい。

今、民間会社の医師の紹介料は非常に高額で、3ヶ月以上勤務すれば返金の必要もな
いことから、民間会社を通してということは極力避けてほしい。

(委員)

目標達成に向けた具体的な取組について、今まで市民病院の分析をしてきたことが書
かれてきているが、ここの具体的な取組が少し弱いのではないか。また、以前は人事考
課のことが記載されていたと思うが。一生懸命頑張る人が評価されないと、組織的には
活性化されなくなる。活躍している人を評価する人事考課などもやらないと組織はおそ
らく駄目になっていく。具体的な取組はもう1度見直したほうが良いと思う。

(委員)

やる気のある人がとことん頑張ると、疲弊して、病んで、辞めてしまうという悪循環
が気になるとの意見も聞いたことがある。

(委員)

目標について、経常収支の黒字とあるが、指標としてはどれを見てそれが達成できたかを確認するのか。

(事務局)

経常収支比率になる。100を超えれば黒字ということになるので、令和9年度に向けて、経常収支比率を上げていきたいという計画としている。

(委員)

医師・看護師の確保の項目には、「呼吸器内科、放射線科の常勤医師確保は急務と考えています。」とあるが、急性期医療の項目では、「循環器科、整形外科、消化器科の医師の拡充に努めます」となっている。医師確保はどのような考え方になるのか。

(事務局)

当院には現在、呼吸器内科、放射線科の常勤医はいないことから、その確保は急務であり、循環器科、整形外科、消化器科は常勤医が不足しているのでさらなる確保に努めていきたいという考えに基づいている。

(委員)

文章の整合性を高めるためにも、「本プラン期間中に呼吸器内科、放射線科の常勤医の確保に重点的に取組み、なおかつ循環器・整形外科・消化器の拡充に努める」という表現にしたらどうか。

(事務局)

そのように修正させていただく。

(事務局)

次回日程調整

日程調整後、病院事業管理者挨拶

(管理者)

市側ともすり合わせ、将来的な少子化、人口減少に対する対策等についても書き加えていきたい。また、プランの後半に関しても修正を入れていくため、改めて審議をお願いしたい。

本プランは10月を目途に完成させたいと考えている。次回までにさらに精度を高めたプラン案を渡せるようにする。

2. 次回日程

日時：令和5年9月22日（金）午後2時～

場所：稲沢市民病院2階 講堂